



予防接種（第3回）

今回は、麻疹（はしか）・風疹混合ワクチン（MRワクチン）です。
麻疹については、今年の3月号（小児編）で詳しく紹介しています。

●麻疹

感染した人の咳・くしゃみでウイルスが飛び散り感染します。伝染力が極めて強く、発熱・咳・鼻水・眼脂・発疹を引き起こします。重大な合併症として肺炎や脳炎などがありますが、予防接種を受ければほとんど起こりません。

●風疹

咳やくしゃみの飛沫により感染します。感染後、2-3週間で発熱・発疹・頸部リンパ節腫脹などの症状が出ます。小児は2~3日で治りますが、大人の場合、重症になることが多くみられます。特に妊婦は、妊娠初期に罹患すると“先天性風疹症候群（胎児が難聴・心疾患・白内障・精神運動発達遅滞など）”児が出生する危険性がありますので、妊娠前に免疫をつけておく必要があります。

～Q&A～

●接種を受ける時期は？

- I期： 生後1歳～2歳（12～24ヶ月未満）、
- II期： 5歳～7歳未満（小学校入学1年前から入学前日まで）

●副反応は？

接種1週間前後に、37.5度以上の発熱が5人に1人くらい、発疹が10人に1人くらいみられますが、通常1～2日で改善します。

●卵アレルギーです、ワクチンを接種して良いですか？

全身的な蕁麻疹や湿疹、アナフィラキシー反応を起こしたことがなければ、一般的に接種できます。

●現在、おたふくかぜに罹っています。どのくらい間隔をあけるべきですか？

水痘やおたふくかぜ、風疹は2週間、麻疹は4週間、その他、手足口病や突発性発疹では1～2週間の間隔をあけたほうがいいでしょう。

●（川崎病で）ガンマグロブリンで治療を受けました。どのくらい間隔をあければ良いですか？

輸血やガンマグロブリン製剤の投与を受けた人は、ワクチンの効果が十分に出ないことがあります。川崎病では6か月以上、麻疹感染の危険が少ないようなら1年くらい接種を延期しましょう。

airy エアリ内科・循環器科

診療科目 内科・循環器科・呼吸器科・小児科

土曜診療を開始しました！

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
10:00～13:30	○	休	○	○	○	○	○	休
15:30～19:00	○	○	○	○	15:00 18:00	15:00 18:00	○	休

ご相談・お問い合わせ



022-797-8601